

Tencent Kubernetes Engine

クラウドネイティブサービスガイド

製品ドキュメント



Tencent Cloud

Copyright Notice

©2013-2023 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

クラウドネイティブサービスガイド

Prometheus監視サービス

監視指標の簡略化

クラウドネイティブサービスガイド

Prometheus監視サービス

監視指標の簡略化

最終更新日：：2023-05-06 20:12:54

注意

TMPは2022年10月27日より、無料指標の無料保存期間を15日間に調整しました。保存期間が15日を超えたインスタンスについては、超過日数に応じて無料指標の保存料金がかかります。具体的な課金ルールについては、[課金説明](#)をご参照ください。

このドキュメントでは、Prometheus監視サービスが**収集する指標**を簡略化し、不必要な料金がかからないようにする方法についてご説明します。

前提条件

監視データの収集項目の設定を行う前に、次の操作を完了する必要があります。

[Prometheus監視インスタンスの作成](#)に成功している必要があります。

[監視したいクラスターを対応するインスタンスにバインド](#)している必要があります。

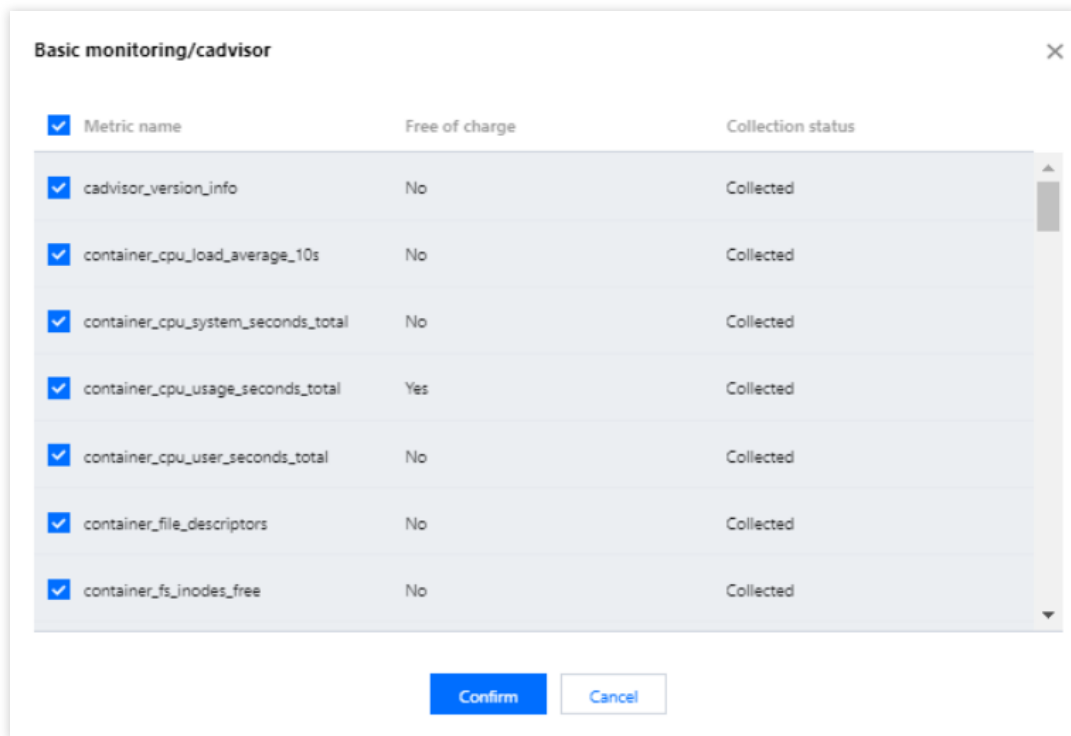
指標の簡略化

コンソール上での指標の簡略化

Prometheus監視サービスは100以上の無料の基本監視指標を提供しています。完全な指標リストについては、[従量課金無料指標](#)をご確認ください。

1. [TKEコンソール](#)にログインし、左側ナビゲーションバーの[Prometheus監視](#)を選択します。
2. 監視インスタンスリストページで、データ収集ルールを設定したいインスタンス名を選択し、そのインスタンス詳細ページに進みます。
3. 「クラスター監視」ページで、クラスター右側の**データ収集設定**をクリックし、収集設定リストページに進みます。
4. 基本指標については製品化のページで収集対象の追加/削減を行うことができます。右側の「指標の詳細」をクリックします。
5. 以下のページで、各指標が無料かどうかを確認できます。チェックが入っている指標は、それらの指標を収集していることを表します。追加の料金がかからないようにするには、有料の指標のチェックを外すことをお勧めします。基本監視についてのみ、無料の監視指標をご提供しています。完全な無料指標の詳細については、[従量課金](#)

無料指標をご参照ください。有料指標の計算の詳細については、[Prometheus監視サービスの従量課金](#)をご参照ください。



<input checked="" type="checkbox"/> Metric name	Free of charge	Collection status
<input checked="" type="checkbox"/> cadvisor_version_info	No	Collected
<input checked="" type="checkbox"/> container_cpu_load_average_10s	No	Collected
<input checked="" type="checkbox"/> container_cpu_system_seconds_total	No	Collected
<input checked="" type="checkbox"/> container_cpu_usage_seconds_total	Yes	Collected
<input checked="" type="checkbox"/> container_cpu_user_seconds_total	No	Collected
<input checked="" type="checkbox"/> container_file_descriptors	No	Collected
<input checked="" type="checkbox"/> container_fs_inodes_free	No	Collected

YAMLでの指標の簡略化

TMPの現在の課金方式は監視データのポイント数に応じた課金です。無駄なコストを最大限削減するために、収集の設定を最適化し、必要な指標のみを収集し、不必要な指標をフィルタリングすることで全体のレポート量を減らすことをお勧めします。詳細な課金方式および関連クラウドリソースの使用については、[ドキュメント](#)をご確認ください。

以下の手順では、カスタム指標のServiceMonitor、PodMonitor、およびネイティブJob内にフィルタリング設定を追加し、カスタム指標を簡略化する方法についてそれぞれご説明します。

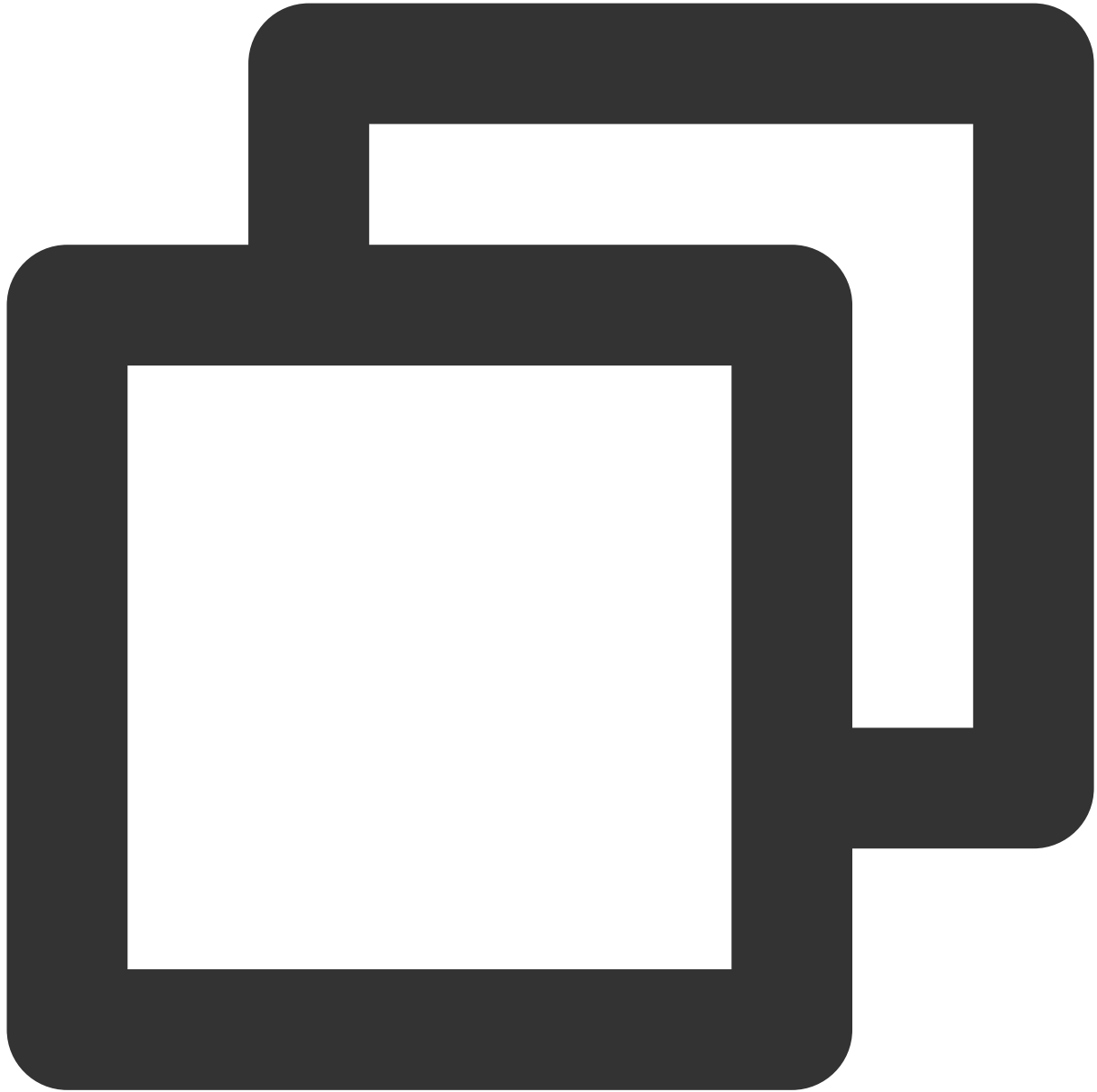
1. [TKEコンソール](#)にログインし、左側ナビゲーションバーの[Prometheus監視](#)を選択します。
2. 監視インスタンスリストページで、データ収集ルールを設定したいインスタンス名を選択し、そのインスタンス詳細ページに進みます。
3. 「クラスター監視」ページで、クラスター右側の[データ収集設定](#)をクリックし、収集設定リストページに進みます。
4. インスタンス右側の[編集](#)をクリックし、指標の詳細を確認します。

ServiceMonitorとPodMonitor

ネイティブJob

ServiceMonitorとPodMonitorのフィルタリング設定フィールドは同じです。ここではServiceMonitorを例にとります。

ServiceMonitorの例：

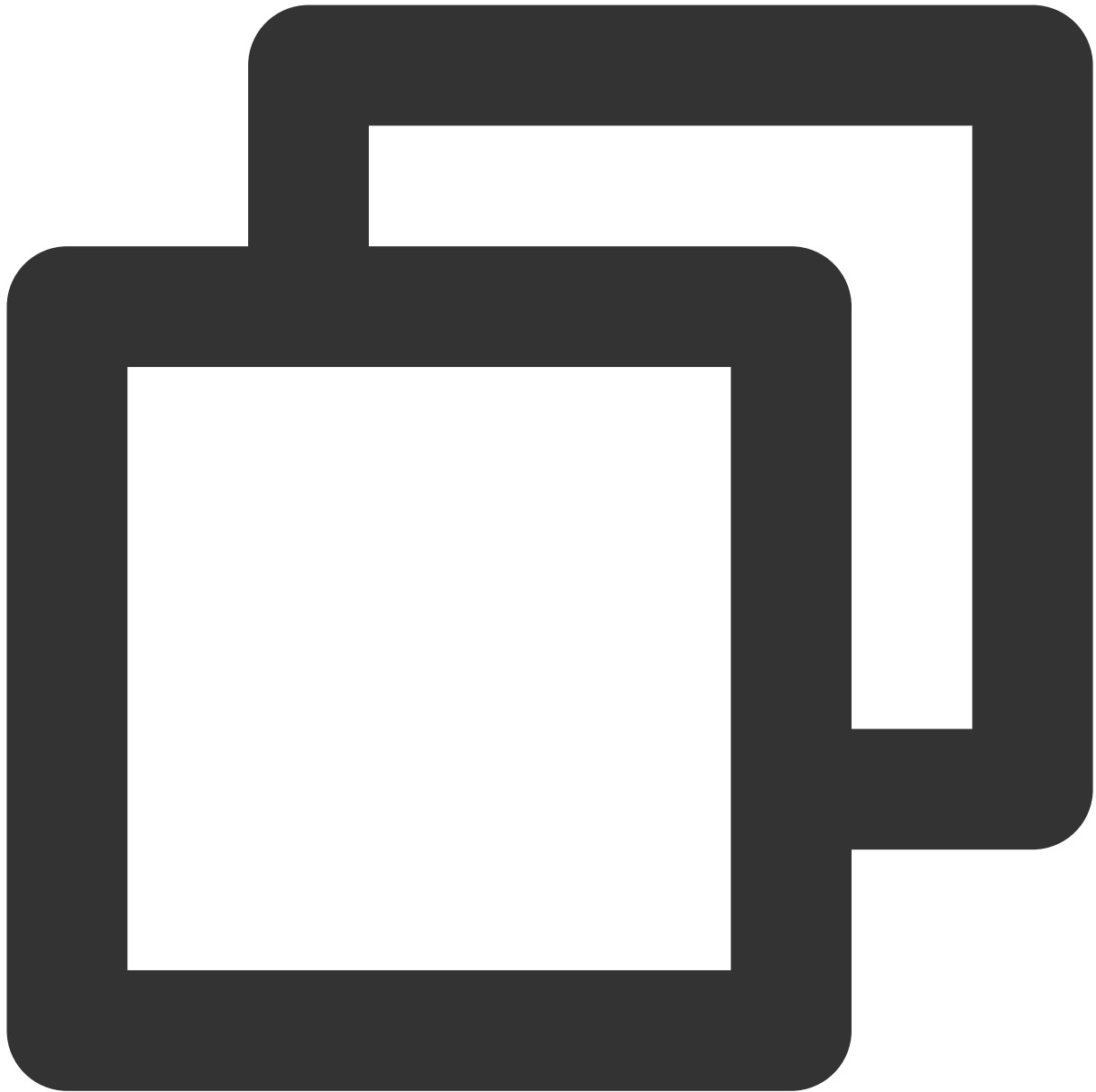


```
apiVersion: monitoring.coreos.com/v1
kind: ServiceMonitor
metadata:
  labels:
    app.kubernetes.io/name: kube-state-metrics
    app.kubernetes.io/version: 1.9.7
  name: kube-state-metrics
  namespace: kube-system
spec:
```

```
endpoints:  
- bearerTokenSecret:  
  key: ""  
  interval: 15s # このパラメータは収集の頻度です。これを大きくすることでデータ保存料金を抑える  
  port: http-metrics  
  scrapeTimeout: 15s # このパラメータは収集のタイムアウト時間です。Prometheusの設定が要求す  
jobLabel: app.kubernetes.io/name  
namespaceSelector: {}  
selector:  
  matchLabels:  
    app.kubernetes.io/name: kube-state-metrics
```

`kube_node_info` と `kube_node_role` の指標を収集したい場合は、**ServiceMonitor**の`endpoints`リストに、`metricRelabelings` フィールド設定を追加する必要があります。** `metricRelabelings` **であり、`relabelings` ではないことにご注意ください。

`metricRelabelings` 追加の例：



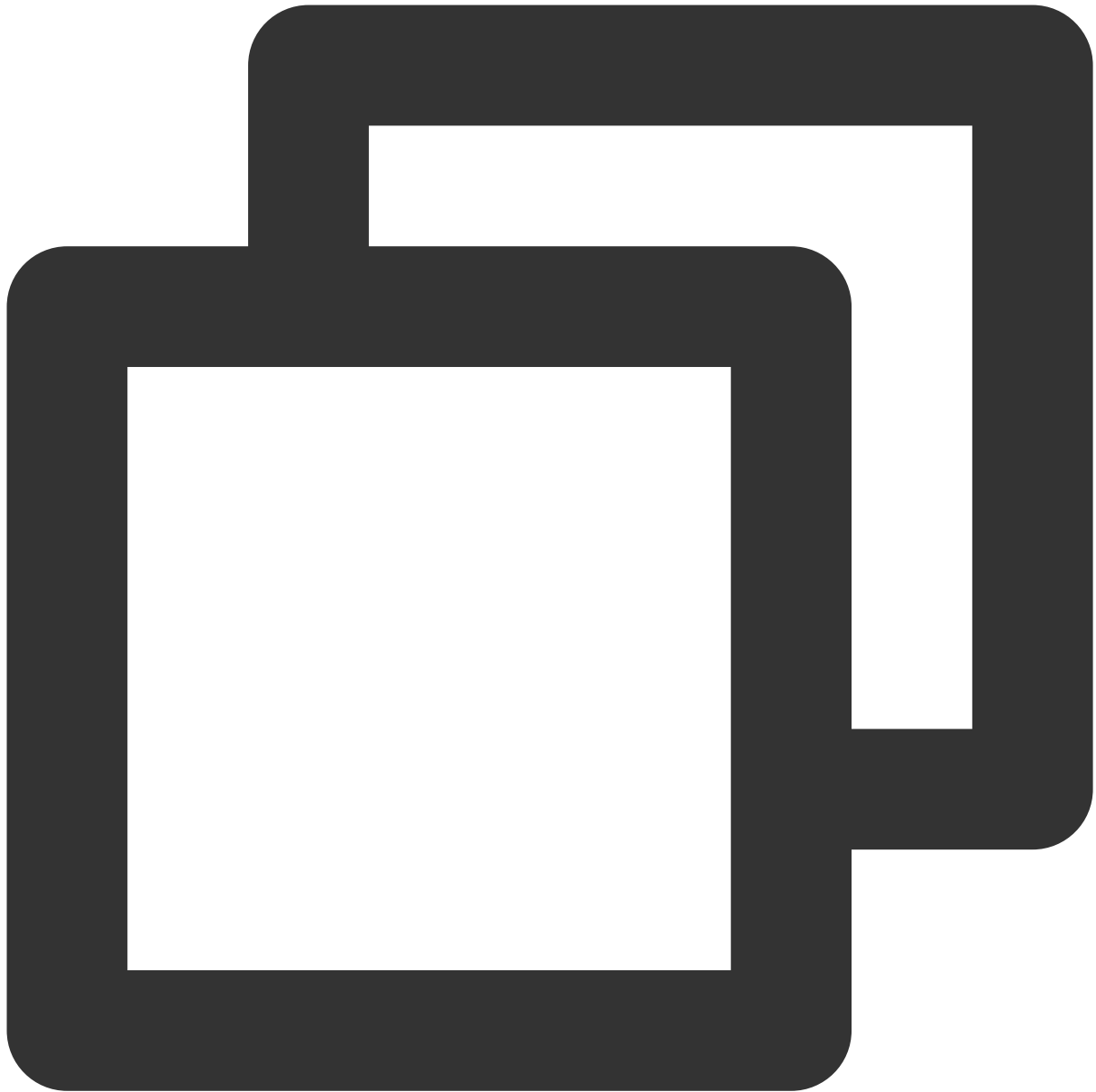
```
apiVersion: monitoring.coreos.com/v1
kind: ServiceMonitor
metadata:
  labels:
    app.kubernetes.io/name: kube-state-metrics
    app.kubernetes.io/version: 1.9.7
  name: kube-state-metrics
  namespace: kube-system
spec:
  endpoints:
    - bearerTokenSecret:
```



```
key: ""
interval: 15s # このパラメータは収集の頻度です。これを大きくすることでデータ保存料金を抑える
port: http-metrics
scrapeTimeout: 15s
# 下の4行を追加しました。
metricRelabelings: # 収集した各ポイントに対しすべて次の処理を行います
- sourceLabels: ["__name__"] # 検出したいlabel名です。__name__ が指標名を表します。また
  regex: kube_node_info|kube_node_role # 上記のlabelがこの正規表現を満たすかどうかです
  action: keep # ポイントが上記の条件を満たす場合は維持し、満たさない場合は自動的に破棄しま
jobLabel: app.kubernetes.io/name
namespaceSelector: {}
selector:
```

使用しているのがPrometheusネイティブのJobである場合は、次の方式を参照して指標のフィルタリングを行うことができます。

Jobの例：

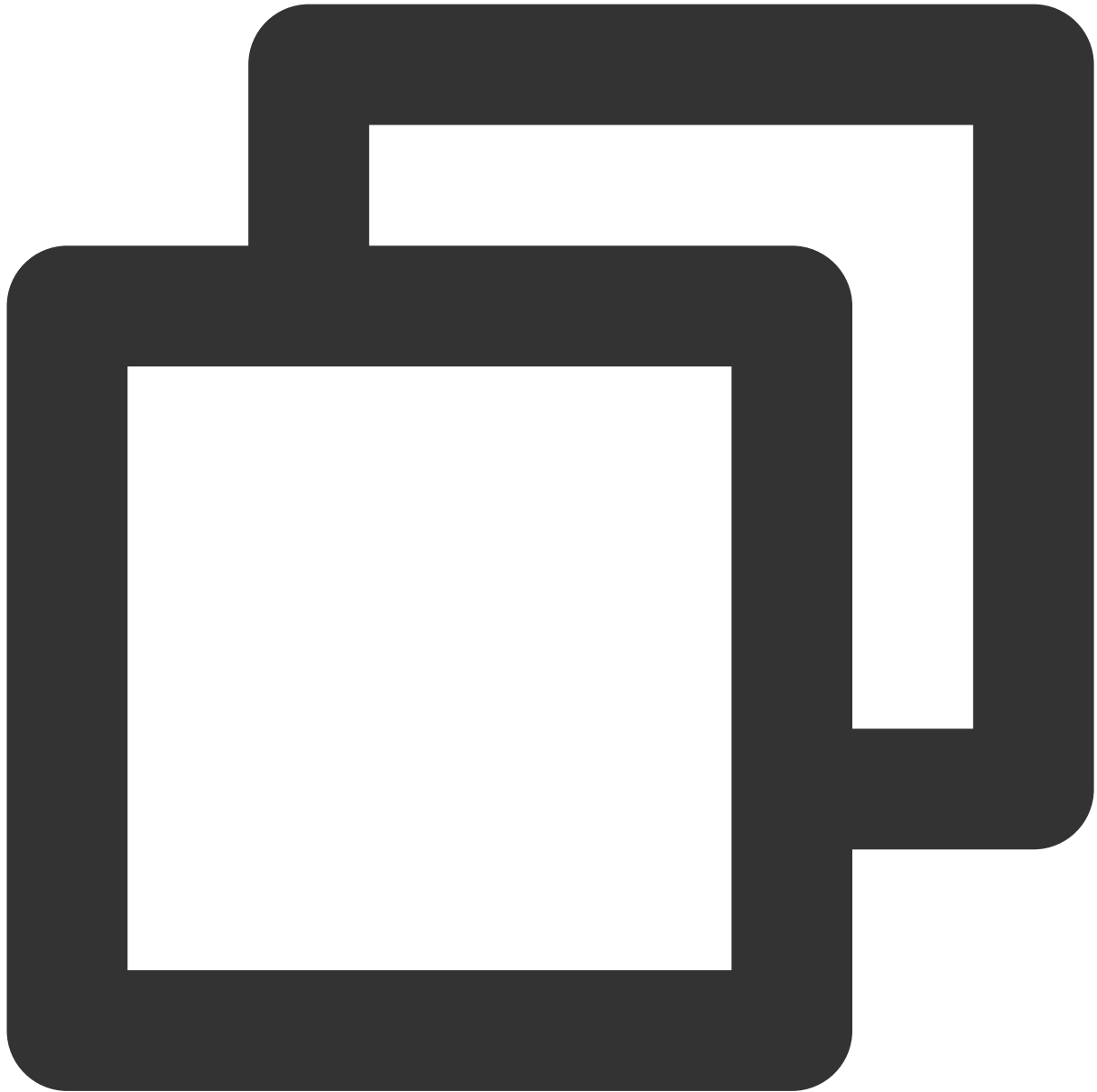


```
scrape_configs:  
  - job_name: job1  
    scrape_interval: 15s # このパラメータは収集の頻度です。これを大きくすることでデータ保存料金  
    static_configs:  
      - targets:  
        - '1.1.1.1'
```

`kube_node_info` と `kube_node_role` の指標のみを収集したい場合は、`metric_relabel_configs` 設定を追加する必要があります。** `metric_relabel_configs` **であり、`relabel_configs` ではないこと

ご注意ください。

`metric_relabel_configs` 追加の例：



```
scrape_configs:  
  - job_name: job1  
    scrape_interval: 15s # このパラメータは収集の頻度です。これを大きくすることでデータ保存料金  
    static_configs:  
      - targets:  
        - '1.1.1.1'  
      # 下の4行を追加しました。  
    metric_relabel_configs: # 収集した各ポイントに対しすべて次の処理を行います
```

```
- source_labels: ["__name__"] # 検出したいlabel名です。__name__ が指標名を表します。ま
  regex: kube_node_info|kube_node_role # 上記のlabelがこの正規表現を満たすかどうかです
  action: keep # ポイントが上記の条件を満たす場合は維持し、満たさない場合は自動的に破棄しま
```

5. **OK**をクリックします。

一部の収集対象を無効にする

ネームスペース全体の監視を無効にする

TMPにクラスターをバインドすると、クラスター内のすべてのServiceMonitorとPodMonitorがデフォルトで管理下に入ります。あるネームスペース下の監視を無効にしたい場合は、指定のネームスペースにlabel: `tps-skip-monitor: "true"` を追加することができます。labelの操作に関しては、こちらを[参照](#)してください。

一部の収集対象を無効にする

TMPはユーザーのクラスター内にServiceMonitorおよびPodMonitorタイプのCRDリソースを作成することで監視データの収集を行います。指定のServiceMonitorとPodMonitorの収集を無効にしたい場合は、これらのCRDリソースにlabel: `tps-skip-monitor: "true"` を追加することができます。labelの操作に関しては、こちらを[参照](#)してください。